

弓道 いばらき

平成30年7月 第40号

発行所 取手市駒場1-22-31
茨城県弓道連盟
理事長 大峰 芳樹
電話 (0297-72-3245)
<http://ibakyuren.com>

平成三十年度に向けて



茨城県弓道連盟 会長 久保田 清

皆様のご協力をいただき平成29年度の行事も滞りなく終えることができました。ここに紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

平成29年度の県外大会を振り返って見ますと、国体関東ブロック大会では少年男子が近的、遠的ともに一位と他を寄せ付けずの通過、成年男子も遠的六位と出遅れたが近的一位で総合二位通過。少年女子は近的二位も、遠的六位で総合四位、成年女子は遠的、近的とも八位で不通過となり、遠的が弱点であることが分かれます。これは遠的射場改修工事による練習不足が原因と思われます。今年度は設備も整い十分な練習ができるので活躍を期待いたします。全

日本選手権大会には関東ブロックを勝ち抜き米山良美、山村晋、県代表で小堀富男の三選手が出場、米山選手は予選通過するも惜しくも入賞を逃しました。女子は中井川美恵子選手が関東ブロック突破、県代表で柴原一利子選手が参加しました。関東教職員大会では、千葉一茂選手が優勝と健闘しました。関東選手権大会では、有段者の部において長谷川絵鈴選手が射技優秀賞と五位入賞、称号者の部で米山選手が五位入賞。国

体では少年男子が遠的で五位入賞。全日本遠的選手権大会では初出場の山口純選手が見事最年少優勝に輝き、茨城の名を全国に知らしめる快挙でした。高体連の結果を見てみると、

関東大会において、女子団体で清真学園が優勝、男子が三位、技能優秀者を清真学園宮川選手が獲得。全国高等学校弓道大会では清真学園が五位、国体に関しては前記してある遠的五位と清真学園が上位を占めました。また、東日本高等学校弓道大会

三人制女子の部において境高校が三位入賞。中体連では関東中学生弓道大会に東海中学が団体女子二位、全国大会においては女子個人黒澤選手が六位入賞しました。これらの活躍は茨城県弓道連盟の底辺の広さを知らしめたものであり、会員各位の活躍の賜物と感謝している所です。平成29年度推薦審議会において本県名誉会長柴田猛先生が九段に推挙されたのを筆頭に、七段に米山良美、中嶋鉄郎、森昭夫、林田國洋の各先生が昇段、六段には船越忠、和栗淳、坂本允、金子久美子、高橋啓市の各先生が昇段、教士には中井川美恵子、錬士には川上義高、古田土百合子、

矢野大輔、西野文子、鈴木裕美、岩間捷雄の各先生方が昇格され、五段には10名の方が昇段されました。27名と近年になく大勢の昇段昇格者が生まれました。心よりお祝い申し上げますとともに更なるご精進とご活躍を祈念しております。

平成30年度には全日本勤労者大会、関東ブロック大会、関東臨時中央審査、関東北部地区指導者講習会、関東中学大会、全国J.R弓道大会と県連主管行事が数多く開催され、会員各位の皆様には多大なご苦勞をお掛けします。31年度の本国体まで無事乗り切り、我が県連の底力を会員の協力により発信したいと思います。ご協力をお願いいたします。今年度も昨年以上の昇段昇格者が出ることを、また大会での益々のご活躍を祈念いたします。



平成31年 いきいき茨城ゆめ国体に向けて



総務企画委員長 明間 勲

平成30年第65回全日本勤労者弓道選手権大会(いきいき茨城ゆめ国体弓道競技リハーサル大会)における大会の運営にあたり、国体事務局長はじめ実行委員長、総務委員長、各係役員の先生方、連日ご苦勞様でした。リハーサルも終わり本番を迎えるばかりになりました。本国体選手選考も6月の選手権大会で選手が決定されます。今後は選ばれた各選手が本国体にかに立ち向かうかです。

昨年は公認資格認定制度に伴う動きがあり、公益財団法人全日本弓道連盟で平成25年4月開催の評議委員会において承認された、基本的事業(昇段審査、各種講習会、研修会)を、公認資格認定委員が行うことになりました。

また事故防止徹底については、行射における安全管理、事故防止についてかねてより格段の注意がなされていることですが、さらに安全を第一に指導をしていかなければなりません。

(1)はじめに

茨城国体があと1年後に迫ってきました。本紙が皆様の元に届くころには全日本勤労者弓道選手権大会が成功裏に終わっていることを祈念して書いています。

(2)施設改修

現在に至るまでのお話しを簡単にまとめてみますと、平成25年1月に全日本弓道連盟の国体正規視察(宇佐美、柴田先生)がありました。

近似的会場での主な指摘事項としては

- ・西日対策
- ・観覧席の整備 … 国体は一般の人の見学も大切にして欲しいとの要望があります
- ・師範席の皇族対応などです。

平成27年12月に近似的射場の西日遮光フェンス高さ10m、長さ42m



国体事務局長 森 昭夫

茨城国体に向けて



の巨大フェンスが完成しました。更に観覧席と師範席の工事が完了しました。観覧席につきましては予算上、屋根のみの設置となりますので、国体本番では屋根の下に仮設のベンチを階段状に設置するよう水戸市側に提案します。

次に遠的会場の方ですが、従来の射場では幅が狭く、また床の痛みも激しいこと、的場が仮設施設で、国体開催には不適切との指摘でした。

そこで、射場は間口12mを16mに広げ、的場方向に6mに拡張し床面積を増やす工事と、的場は仮設から恒久化施設になりました。昨年1月31日に完工し武道館への引渡しとなりました。

残っている課題は遠的射場の観覧席です。ご承知の通り矢道の右側にはフェンスがあり、植栽が高く育ってしまいました。仮設の観覧席の前に植栽があると射場や的

場が観難い問題になってしまいましたので、国体直前には移植または伐採をお願いすることになります。

新たな問題としては遠的矢的場後方の道路まで飛んで落ちていました。近隣の住民が拾い武道館へ苦情が入りました。これを機に県の施設担当が各地の遠的場を視察し、安全対策をどのようにするか検討が始まりました。4月24日に県保健体育課、県建設技術公社、堀原運動公園武道館、茨弓連が集まり第1回の会議を行いました。第2回目6月7日に実施されました。安全第一は勿論ですが使い勝手が悪くなつてはいけませんし、国体時の観客席設置に問題が出ない様に提案していきます。

(3)国体視察

昨年度は6月に福井のプレ大会に4名。7月は7月23日に開催された群馬県前橋市での関東ブロック大会に、国体組織団の主任クラスの方々19名。9月の愛媛県松山市の国体には久保田会長以下委員長、係長クラスの方々7名が視察を実施しています。

今年視察の仕上げとして福井国体を会長以下6名で視察することが代議員会で承認されました。

県より「開催準備活動支援事業費」として25万円の補助金が出るようになっていきますので、有効活用していきます。

(4) 国体実行委員会の立ち上げ

昨年1月16日に国体に向け久保田会長を実行委員会委員長とし、15名で委員会を立ち上げました。第2回は4月16日に開催しました。国体事務局会議も昨年12月15日に7名に増員し、月1回のペースで会議を行い、ここで立案した課題を実行委員会に諮り確認してから実行していく形にしました。プレ大会と関プロ大会用にポロシャツを発注し着用する。国体PR用のみとちゃんピンバッジを作り会員には無償で配布するなどが進みました。

(5) プレ大会

6月1日～3日まで全日本勤労者弓道選手権大会(国体プレ大会)が開かれました。

年はプレ大会、関東ブロック大会、臨時中央審査と大きな大会が開催されますが、プレ大会はその反省点を来年の本国体に生かすことが大きな目的でもあります。

行政との会議を月1回ペースで



行ってきましたが、お互いが同じ目標に向かって進むためには1年はかかってしまうことがわかりました。プレ大会は近似的のみでやり易いと簡単に考えていましたが、問題が次から次へと出てくるたびに腹を割った質疑応答が必要でした。お陰様で水戸市からは宿泊費60泊分の費用負担、ポロシャツ・屋外作業者への帽子支給、5/31準備日の昼食費負担など全面的なバックアップを頂いています。今回のプレ大会先催県と違った方式にしようとの提案で、①競技役員の服装をブレザーを止めてポロシャツ着用としました。水戸市から各人に1枚支給され、茨弓連からも1枚支給する形になりました。②中間的中表示盤はLEDを

使用する。従来は国体と同じ大きな木製の標示盤を使っていましたがLEDにすることで軽量化が図られました。かつ6～8名の人員削減ができました。ただ、停電などの異常事態に対応できるよう配慮が必要です。

(5) 終わりに

本紙が何月に発行されるか不明ですが、8月の国体関東ブロック大会も成功裏に終わっていることを祈念すると共に昨年と同じことばで締めくくります。この素晴らしい遠の場を十分に活用され、「仏作って魂入れず」にならないように、国体強化選手の皆様のご活躍をお祈りいたします。



専門部だより

指導部



部長 川瀬 政人

平成29年度、指導部行事も計画どおり全14回の講習会を無事終了することが出来ました。参加者は延べ人数697名と昨年を上回る大勢の参加者があり、これも偏に講師の先生方、各役員、受講者各位のお蔭と御礼申し上げます。

指導部事業として、平成31年の茨城国体に向けて公認資格制度地方委員登録を実施「公認地方委員資格認定講習会」を開催したところ128名の方が受講し、全員合格。

これにより地方委員資格(審査委員・審判委員・講師)に認定され「修了証・認定証」が茨城県弓道連盟より発行されました。(資格有効期限翌年度から三年間)

さらに公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者「公認弓道指導員専門科目免除」制度を活用して募集したところ、23名の会員が受講され、所定の過程を終了し「修了証」が全日本弓道連盟より

発行されました。

引き続き本年度に共通科目I (NHK学園の通信講座) を取得することによって「日本体育協会公認弓道指導員」として認定される予定です。

また、支部指導者伝達講習会では50名の参加があり、受講者が各支部にて伝達講習会を開催されて、36支部より伝達講習会実施報告(内5支部が合同開催)があり504名の参加者報告がありました。(この講習会に参加された方は審査申込書の講習会受講歴欄に記入出来ますので、審査を受審する際は記入漏れないように願います) 指導部として本年度も全日本弓道連盟から通達されている「平成30年度指導方針」に基づいて講習会を開催致します。

「弓道教本及び副読本に基づいた基本の徹底」

指導者の心得(4項目)

- 一、日本弓道の指導者として、自ら至誠と礼節を体現し真善美を目指すこと。
- 二、指導者の持つ影響力を自覚し、自身の言動の倫理性について常に注意を払うこと。
- 三、指導にあたっては、自らが実践躬行すること。
- 四、指導にあたっては、弓道教本及び副読本に基づき全国

指導項目(4項目)

的に統一された指導を行うこと。

一、「射法、射技の基本」に徹すること

・基本の5項目を深く習得していく

・正しい射法八節を実践していく

二、「基本体の必要性」の実践

・動作の注意点(八項目)を習得していく

三、高段位者について

・更なる射品、射格を高めていく努力を怠らないこと

四、その他

・平成30年度は「公認資格認定制度」の施行の初年であるのでこの周知と定着を図っていく

尚、従来の矢羽の取り扱いと羽の使用に関する準則の徹底を図る

・あらゆる暴力やハラスメントの根絶を図る

・弓道競技規則の改定について周知を図る

・審査規定の改定について周知を図る

・アンチ・ドーピングについてはこの制度に含んでいるので、引き続き周知を図っていく。

指導部では本年度も14回の講習会開催を予定しており、外部講師招聘講習会の日程内容が昨年度と若干変更がありますのでご注意願います。

《平成30年度 外部講師招聘講習会》

・趣旨：本連盟の段位上位者を対象に、弓道の倫理と実技の講習を実施し、各自の力量を高めるとともに、指導力の向上を図り、本連盟会員への波及効果を期し、連盟の発展に資するものとする。

・主催：茨城県弓道連盟

・期日：平成31年3月30日(土) 31日(日)

・日程：3月30日(土) 受付8:30 開始9:00 閉講式15:30

・参加資格：錬士六段以上

・講師：全日本弓道連盟中央講師

・申込先：〒314-0257 神栖市太田新町三-三-二十九 県弓道連盟

指導部長 川瀬 政人

TEL:0479-46-1103

携帯:090-4535-8002

メール:ibaraki_kyudo_shidoubu@yahoo.co.jp

参加費:4000円

申込先：郵便振替口座番号 00170181300200

口座名義：茨弓連指導部 申込金は返金しない。 申込み期限：平成31年1月4日(金) 2月1日(金)必着(入金確認出来た人)

持参品：弓具、弓道教本、副読本、筆記具、昼食

その他：和服着用のこと。最後に本年度も各講習会に多数参加と、会員皆様のご活躍を祈念いたします。

以上

審査部

部長 和泉 武



今年度は県弓連役員改選期にあたり、過日行われた理事会・代議員会に於いて継続して審査部長を務めることになりました。昨年度までの全ての審査会が滞りなく計画通りに出来たのは審査に関わる全ての方々のご指導とご協力の賜物でした。紙面をお借りして感謝を申し上げます。三期五年目に入る今年はいくまでの経験を活かし、一層のご指導、ご協力を賜り、心新たに生懸命務める所存であります。

さて今年度の審査部の活動を見通してみますと 昨年度と同様に会場確保と日程計画の難しさを継続したスタートになりました。又今年十月には三日間にわたる本格的な「関東臨時中央審査会」開催の件は特筆される事と認識しております。その他来年行われる一大イベント「茨城国体」を見据えた様々な県連行事は審査部に於いても連動しながら活動しなければならぬとも考えております。今年もより充実した審査会の運営改善策を進めたいと思いつつも、今年度の実施計画は既に実行の段階にあります。来年を見据え確実な実行計画に落とし込む事が今年の重要課題と考えております。

それでは昨年度を振り返ってみます。昨年度の県内審査会の実績は 中高校生審査会は四回行われ、水戸・土浦・取手・ひたちなか・東海村の五会場での開催になりました。延べ十二回、十三射場で行われた受審者数は二二二六人。同じく一般審査会は三回、二会場三射場で三八四人の実績でした。両審査会受審者数に連合審査受審者数一六六人を加えた合計人数は二八七六名となります。中高校生審査会の対前年比は七三名の減少、一般審査受審者数は十六名の増加となり、連合審査を含む全受

審査数の対前年比はマイナス五九名で中高校生は二年連続の減少。一般審査は連続の増加でした。この傾向は今後も続くものと推測しております。一昨年までの会場キャパオーバー(特別演武を実施して一射場一八〇人)の審査会は三つの施策 ①土曜日の開催 ②中高生と一般審査の同所同日開催 ③射場数の増加 の実行に依り、受審者数の微減の環境変化と相まって適正受審者数の平準化は成果を残し完了しました。しかし土曜日の開催は残念ながら当初の懸念通りの結果に終わりました。審査委員及び審査役員への大きな負担を掛ける結果に併せて、難しい学校群割振りにも悪影響を与えるに至りました。関係のご理解の上で事なきを得たことに感謝申し上げます。今年も会場確保と日程調整の結果は昨年と同様な状況になると推測いたします。来年の改善に期待し皆様の変わらぬご協力をお願い致します。

今年はいくまでの経験を活かし、一層のご指導、ご協力を賜り、心新たに生懸命務める所存であります。

ど)。又一般審査会に於いては県北、県中、県南の各一回の開催等であります。これらの地域別開催回数等の平準化は受審者の利便性の向上のみならず、会場確保とより良い日程計画に結び付くものと考えております。具体的改策案の結論を出し次年の実現を目指しますが審査部独自での実現は難しく県連会長始め役員、そして中高体連・関係学校のご協力は不可欠です。実現目指し確実に進めて行きたいものです。又先に述べた「関東臨時中央審査会」の開催は大きな事業と思えます。通常の地方審査を超える大きな規模と高い精度の審査運営を求められます。又地元開催の審査であれば部員の中にも多くの参加希望があると推測されます。この臨時中央審査を成功裏に収めるべく県連役員始め他の専門部のご協力を切に願うところです。

審査部からのお願い

今年も円滑な審査会運営に最大の努力を致しますので皆様のご協力宜しくお願い申し上げます

一、審査申込に關係する件

① 申込締め切りの厳守をお願い致します。

② 申込事務手続を正確に行って下さい。審査申込書の記入の

不備(認め印、申込年月日、会員ID等の記入漏れ)

③ 審査申込書と弓道級段審査申込書の不一致(金額集計計算ミス・振り込み金の過不足・審査種別人員の不一致等)

④ 県外審査の申込書及び審査料金の振込みは必ず審査会別にお送り下さい。代議員会でお配りした資料の再確認をお願い致します。

二、審査当日の注意事項

何処の会場も忘れ物があり処分に困っております。忘れ物がない、持ち物には氏名を書く等の対応をお願い致します

競技部

部長 中嶋 鉄郎



競技部長二年目になります筑西五所宮支部の中嶋です。平成30年度も副部長

は齊藤孝司(牛久支部)、萩野谷綾子(射友会支部)、圓城寺賢一(水戸桜川支部)、会計は大貫富士男(水戸桜川支部)、事務局は小出

則夫(水戸桜川支部)、右近大道(牛久支部)の体制です。よろしくお願致します。

ブレ大会及び関東ブロック大会を控えて

平成31年度10月には「いきいき茨城ゆめ国体」が開催されます。昨年度から国体を想定して近隣の大会を実施して参りました。お陰様で会員の皆様方の多大のご協力を得まして、無事大会運営をすることができました。心より感謝申し上げます。

さて、第65回全日本勤労者選手権大会(国体ブレ大会)が6月1日〜3日に開催されますが、年度最初の大会に支部対抗戦をそのリハーサル大会として開催させていただきますました。各支部一チーム(選手3名+監督1名)に制限し、決勝トーナメント出場決定を時間短縮のために抽選を実施するなど、会員の皆様のご協力をお願いしました。競技役員にとりまして全日本クラスの大会運営と同様の運営を経験することができましたこと

は、国体ブレ大会への大きな自信になりました。当然ながら課題も多くありますが、一つひとつ課題を克服して大会を成功させなければならぬと考えております。

さらに、第73回関東ブロック大会が8月26日が開催されます。競技は近的と遠的がありますが、特に遠的競技については、県遠的選手権大会と競技方法が異なるためどのようにすれば競技力向上に繋

がるかを検討して参りました。県遠的選手権大会は「霰的」を使用しの中数で順位を決めます。関東ブロック大会と本国体は「色的」を使用し合計得点で順位を決定します。この二つの異なる競技方法をどちらも満たし、競技役員の競技力向上に繋がるようにするために要項の一部を次のように変更させていただきますことになりました。

県遠的選手権大会は、全日本遠的選手権大会選手権を兼ねていますので、的中制は維持しますが、的を「霰的(直径79cm)」から「色的(直径100cm)」に変更して、一番外側の白帯は不中とします(白帯部分を除くと「色的」は直径80cmになります)。競技中は得点を表示しますが、得点は順位には関係がありません。

会員の皆様には、遠的競技は日頃から経験することが少なく、大会参加に二の足を踏む方も多いかと思えます。国体を控えて自ら遠的を経験することができる絶好の機会でありますので、奮ってご参加下さいませようお願いします。

大会運営(県大会)についてのお願い

昨年度は大会ごとに大会終了後、大会運営について競技役員の見聞を実施し、次の大会に生かして参りました。大会ごとに競技役員

も異なりますし、競技方法も少しずつ異なりますから課題を持ち越すことも多かったと反省しています。今年度は会員の皆様方をお願いしたいことが、三点あります。一つは、第三控において招集係が選手の名字で確認します。(昨年は自ら名前を係に伝えていただきました。)

二つ目は、選手控え入場口を廊下側の一方所にする事です。同時に第三控から第二控、第一控そして射場入場、退場を一方通行にさせていただきます。併せてブレ大会、関東ブロック大会を想定して、退場口周辺での射場内見学は控えていただきたいと思います。

三つ目は、競技役員は選手としても大会に参加しています。交代で役員の役割を果たしている訳です。休める時間がほとんどありませんので、遠的場まで行って巻藁練習をすることが難しいのです。したがって、役員が巻藁室において巻藁練習することにご理解をお願い致します。

「安全」と「公平」であること。

昨年同様に心掛けて大会運営を実施して参りたいと考えていることです。「安全」についてはいまでもないことですが、適正な弓具の使用をしていただくこと、そ

して競技中の危険な場面を作らないことです。

「公平」であることについては、試合に臨む以上誰でもが勝ちたいと考えますが、誰もが公平に戦えるよう大会運営をするためには、競技規則に則った競技運営がなされなければなりません。みなさんに不満が残らないような大会運営に努めて参りたいと考えております。この点に関しても昨年同様、皆様にご協力をお願い致します。

今年度の県大会は、支部対抗戦、県民総体兼県選手権大会予選、県選手権大会決勝、遠的選手権大会、中野杯記念大会、新年射会、(勤労者大会)です。残念ながら、実施できる大会はかなり制限されてしまいます。競技役員の願いは、できるだけ多くの会員の皆さんに参加していただくことが最も重要な事だと考えています。会員皆様の弓道の技術向上につながり、更にはこのころの在り方・作り方に通じるような大会運営ができることを目指していきたいと考えております。

よろしくお願い申し上げます。

強化部

部長 高木 勉



久保田会長より強化部長を仰せつかり1期2年が経ちました。役員の先生方や

強化関係の皆さまのおかげで無事終了することができました。心より感謝申し上げます。

また県武道館での講習会、昇段審査開催時でも強化練習を了承して頂き、大変ありがとうございました。

今年度も更に一層の努力を致す所存でございますので、何卒ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

H29年度の成績

7月23日(日)国体関東ブロック大会 (ALSOKぐんま武道館弓道場)

- 成年8都県中
4都県関東ブロック通過
少年8都県中
3都県関東ブロック通過
成年男子

- 近的 21中 1位
遠的 118点 5位
総合 2位
国体関東ブロック通過
成年女子

- 近的 9中 8位
遠的 71点 8位
総合 8位
国体関東ブロック不通過

少年男子

- 近的 20中 1位
遠的 152点 1位
総合 1位
国体関東ブロック通過

少年女子

- 近的 17中 2位
遠的 74点 6位
総合 4位
国体関東ブロック不通過

えひめ国体(愛媛県総合運動公園弓道場) 9月9日(金)~12日(月)

成年男子

- (遠的、近的)上位8位まで予選通過
遠的 予選 138点 15位
予選不通過
近的 予選 16中 19位
予選不通過

少年男子

- (遠的、近的)上位8位まで予選通過
遠的 予選 145点 4位
通過
決勝トーナメント一回戦
茨城47-75柘木 敗退

- 5~8位決定戦 5位入賞
近的 予選 18中 10位
予選不通過

成年男子・少年男子は本国体に

出場し少年男子が遠的5位に入賞しました。

今年度の選手強化、福井国体に向けては、強化部内の編成を行い、高体連の先生方に強化部に参加して頂くことで、成年・少年のコミュニケーション、技術力の強化をはかると共に、茨城県としてのチーム力向上を目指します。

また選手強化に科学的分析を取り入れ、自分に合った道具・引き方・目標を持ち、自分に足りない部分を補った練習が出来るよう選手サポートに努力していきます。

最後に国体でも活躍しています山口純選手(蒼藤会)が、第68回全日本遠的選手権に初出場し初優勝しました。大会には山口選手のように国体で活躍している選手が数多く出場していました。天候も台風が近づく荒れた中、ただ一人10射皆中での優勝は大変すばらしいと思います。

これからも茨城県の代表として活躍されますことを期待致します。

施設部

部長 園部 俊雄



引き続き施設部担当を仰せつかりました支部の園部です。

よろしくお願い致します。
来年の茨城国体に向け武道館の設備工事も終了しました。但し遠的場の安全対策の為、サブグラウンド側のフェンスと植木の撤去移植が工事が今年度の第4四半期に予定されているようです。具体的にはこれから検討すると聞いております。そのあとへ遠的場の観客席と矢返し通路が仮設対応設置となる予定です。

工事期間中は遠的場の使用は出来なくなると思われますが、ご協力をよろしくお願い致します。

平成30年度の諸行事もスタートしましたが武道館弓道場での大きな大会等は、6月1日~3日国体リハール大会と位置付けた(近的のみ)全国勤労者弓道大会、6月16日~17日、関東北地区指導者講習会、8月25日~26日、関東ブロック大会(近的・遠的)、10月6日~8日、関東臨時中央審査、3月30日~31日、外部講師招聘講習会等が予定されています。
特に8月の関東ブロック大会は、公開練習、リハール、本大会と毎週末予定されています。今年度の各種大会等も通年の予定より少なくなっております。講習会、審査会、競技大会等の行事が円滑に運営されるよう協力していきたいと思っております。

大会等については我々施設部員一同が競技部役員と協力しながら今年度も競技運営に支障のないよう努力していきますのでよろしくお願ひします。

皆様にお願ひ

茨弓連の倉庫内にある備品の使用後は必ず元の位置に収納してください。

自分の弓具等に支部名、氏名を記入して忘れ物をしないように心がけていただきたいと思ひます。

地区だより

県北地区

大子支部 岡村 廣

「第55回奥久慈弓道大会」

昨年の平成29年10月21日に開催された、奥久慈弓道大会について報告いたします。

奥久慈の山々が少しずつ色づいてきた中で、旧大子二高弓道場で行われました。

大子町長綿引久男様・体育協会長小室健二様をご来賓に招きご祝辞を賜りました。

支部長あいさつの中で、第55回を数えるこの大会は、今回で最後の大会となります、第1回を昭和



51年に開催して以降42年間の長きに亘り大子支部単独で運営してきましたが、支部会員数の減少と高齢化に伴い、奥久慈弓道大会の幕を閉じる事になりました。旨の報告がありました。

大会は、水戸・笠間・友部・茨城町・勝田・日立・石岡・大子・那須塩原・東京等県内外の各支部より77名の参加者で競射が行われました。

競射の部(8射)

- 優勝 和栗 淳(6中)友部支部
- 準優勝 木村 薫(6中)日立支部
- 第3位 堀江 栄(6中)大子支部
- 第4位 小沼瑠璃(5中)茨城町支部
- 第5位 矢崎一男(5中)友部支部
- 第6位 鈴木敏秋(5中)那須塩原部

第7位 宮田はるみ(5中)水戸支部

余興の部
金的賞 桑原恒夫(水戸支部)

銀的賞 堀江文彦(大子支部)

鮎的的賞 市毛隆行(水戸支部)

りごの的賞 小室輝夫(東京第一支部)

最後の奥久慈弓道大会になりましたが、これまでの県弓連の指導者の皆様と、長年大会に参加して頂きました。

日立地区

鳴和支部 今村 好男

(日立市弓道連盟会長)

平成二九年一月、日立市に「池の川さくらアリーナ」体育感が完成し、弓道場が併設されました。それまでの三年間、日立市には個人が自由に利用できる弓道場がなく、市内の弓人にとって待望の完成でした。

日立市には、「日立市弓道連盟」があり、一般七支部と高体連四弓道専門部が所属し、この新道場を利用して日々練習に励んでいます。

平成三十年度は、日立市支部對抗弓道大会(平成二九年七月二日)と日立市市民弓道大会(平成二九年十月九日)を行いました。支部對抗弓道大会では、高校の定期試



験と重なってしまったこともあり、参加者は少なく九チーム二九名でしたが、市民弓道大会では、多くの高校生が集まり、百余名もの参加となりました。いずれの大会も優勝決定戦は射詰めとなり、盛況のうちに終えることができました。

十二月には一年間使用して堅くなった安土を崩し、川砂を入れ安土の整備を行いました。各支部会

員が安土整備に協力頂きましたが、特に経験のある日製日立支部部員の方々は多大な協力を頂きました。

日立市弓道連盟としては「新弓道場」が出来たということで、日立市体育協会とタイアップして二

月に「初心者弓道教室」を開いたことが特筆されます。これにより、弓道の普及に資すると共に、弓道

人口の増加に貢献出来る事を期待しています。今回、日立市弓道連盟としては初めてのことで、日立市体育協会と相談し、まずは弓に触れて、弓道を体験してもらうことを重点としました。弓道に興味を持って居る方は多かつたよう、電話申し込みに対し、申し込み日の午前中には定員に達してしまいました。定員をオーバーして以降の方々には残念ながらお断りする状態でした。教室は二月十日から五回実施し、「礼」、「揖」、「歩き方」、「座り方」、「座り方」から始まり、「弓道八節」の説明を行い、最終日には射場から矢を放てるまでになりました。講師には、日立市弓道連盟所属の称号者(宮崎教士七段、根本教士六段、今村錬士六段、金子錬士五段および伊東錬士五段)の五名があたり、二月の寒い中ご協力いただき感謝いたします。なお、受講生は十七名でしたが、教室終了後も引き続き指導を希望する方が多く、現在、十名が週二回の稽古を行っています。このまま弓道修練を積み、審査を受けられるまでに上達し、弓道人口がさらに増える事を期待しています。今回の経験を生かし、次年度も引き続き「弓道教室」を開催する予定です。

新弓道場が建設されて以来利用

者も増加しており、日立地区弓道の発展を期するところであります。

水戸地区

水戸支部 市毛 道子

第五十六回水戸観梅弓道大会

観梅の季節となり、日本三公園の一つ「偕楽園」は毎日賑わっています。今年も観梅デイ三週目の三月十八日(日)茨城県立武道館弓道場において、観梅弓道大会が水戸市弓道連盟の主催で実施されました。天気にも恵まれ、近県からの弓道愛好者が集い、老若男女四百六十二名(一般男子一二九名、女子九二名、高校男子一一八名、女子一二三名)の大会となりました。(遠くは仙台、長野から)



【開会式】



【一般女子・高校女子】



【一般男子・高校男子】

【結果】

【高校男子】

一位 千葉 大地(石岡一高)

二位 本橋 隼人(土浦二高)

三位 永田 響(土浦一高)

【高校女子】

一位 岡崎 鈴果(佐和高)

【一般男子】

一位 水本 清一(宇都宮市)

二位 福地 平(水戸市)

三位 明間 勲(取手市)

【一般女子】

一位 川俣 幸子(水戸市)

二位 大貫 春恵(水戸桜川)

三位 萩原明日香(水戸市)

※四射二中以上者は「水戸納豆」を、参加者全員に「特大とらやき」を進呈

石岡地区

美野里支部 萩原 裕一

石岡地区の原稿は、各支部長に活動報告や写真提供をお願いしてまとめています。

美野里支部は今年も1人増えて7人、揃っての練習は土曜の午後ですが、ほとんど毎日練習しています。一手座射、四矢立射、一本ずつ、各々調整しています。より緊張した稽古のために月例会の復活も言われています。県弓連の登録はまだまだが数名が支部に参加しています。

石岡市支部は31名で、第18回石岡市親善武道大会弓道の部を主催し、月例射会、30射会、花見射会、芹澤杯50射会、古稀・傘寿祝賀射会等を実施しています。毎年8月〜10月に弓道教室を実施し、37期270名余の卒業生を輩出しています。弓道教室出身者の向上意欲

は旺盛で29年度は11名が昇段しました。近隣への配慮から昼間の活動が主なため、若い会員獲得の困難だが、最近では40歳代や高校での経験者が入部し活発になって、シニア中心の毎日の活動は、弓道を通じた親睦や健康維持に大きく寄与している。通常は3人立ちの芹澤記念弓道場で稽古及び射会をしています。八郷運動公園内の石岡市弓道場で5人立ちの稽古や持的射礼、一つの射礼の稽古も行います。

空自百里支部は8名で、昨年の全自衛隊弓道大会で団体優勝しました。弓道場の老朽化が見られ、床板の張り替え、修繕を行っています。



玉里酔心館支部は、石岡商業高校の弓道場の夜間一般開放を利用し、活動を行っています。今年度からは以前の様に土曜、日曜は午後から活動する許可が下り、明るい時間帯に練習が出来るようになりました。やはり夜間と違って矢の着地点が良く見えますので、射の反省ができます。教本にも「離れの姿勢をくずさず、気合のこもったまま・・・眼は矢所の着点に注いでいなければならぬ。」と表記されていますので矢所が見えるづいていくこの頃です。

小川支部は、小川高校が2013年3月廃校、2017年小川南中学校として使われることになり、弓道場は取り壊されることになっており、すでに解体業者への発注も済んでいた。しかし、関係者の熱意もあって弓道場の存続が決定し、再生されました。小川南中学校弓道場が2017年8月より使用、活動を開始することが出来ました。昔、学生の頃に経験した人、初めて弓を体験した人、みんなと一緒に練習したい人が活動を始めています。これに伴い、平成30年度より小川支部が休部から復活しました。年齢や性別の関係もなく初心者体験から、経験者の練習場として活用することが

できます。

八郷支部、桐弓会支部があります。

土浦地区

つくば支部 石塚 政弘

土浦地区は土浦市支部、土浦亀城支部、新治支部、霞ヶ浦支部、阿見町支部、つくば市支部、筑波北条支部の7支部で構成されています。

平成29年度の土浦地区の主要な行事としては、土浦さくらまつり弓道大会、鹿島神社奉納射会等が開催されました。特に今回で第54回目を数える土浦さくらまつり弓道大会は493名の皆様にご参加いただき、盛大に執り行うことができました。

各支部の活動状況として、土浦市支部、新治支部、霞ヶ浦支部、阿見町支部を紹介いたします。

土浦市支部は、火曜・金曜の午前と夜間に活動しています。加えて、第2土曜日には月例会を開催し、午前は基本の稽古、午後には射会を行っています。12月、1月、2月には特別射会として納射会、射初め会、節分射会を実施しています。また、希望者には弓道を体験していただき、入会案内をしています。

新治支部は昭和62年に国谷先生



によつて発足してから、設立30周年を迎えました。毎週土曜日の午後から稽古に励んでいます。道場は高い場所にありますので、眺めがよく空気も澄んでいます。部員の年齢層が高齢化してきています。部員若く、若い部員の入部を期待しているところとです。

霞ヶ浦支部は、月曜日を除き毎日活動を行っています。中学生から80代まで老若男女が弓道を楽しんでいます。一昨年より地元かすみがうら中学の部活動の一環として受け入れを行っており、今年新たに4名の1年生が入会し、熱心に稽古に励んでいます。また、ホームページによる会員募集も行っており、潜在弓道人の掘り起こしに務めています。

阿見町支部は月曜・水曜・金曜

の午前と、土曜・日曜の午後に見中学校弓道場において活動しています。平成29年度は県民総体において男子参段以下で優勝、女子四段以上で準優勝を果たしました。阿見町支部も存在感のある支部になりつつあります。新たに大学での弓道経験者2名も入会したため、団体戦においても好成績を残せるよう、稽古に励んでいます。

県西地区

古河支部 中野 善丘

古河市支部は、県内でも人数が最も少ない支部だと思います。現在6名で活動しています。常時活動できる弓道場がないので、土曜日、日曜日の午後、県立古河第二高等学校の道場をお借りして各自稽古に励んでいます。ご指導を仰ぐ称号者がいませんので、かつては教士の先生をお招きし、月に1度ほど講習会を行っていました。

体調を崩されてからは、機会をみてはほかの先生にお願いしているような状況です。県連の講習会に参加し、技術の向上を目指し、昇段を目標としています。

また、普段の練習のほかに、県

内外の各種大会に参加し他地区の弓友との交流に努めています。今年も1月の県西大会を皮切りに、観梅大会、真岡大会、野木大会と参加し、これからも各地の大会に積極的に参加する予定でいます。よろしくお願いたします。

古河市支部は平成6年に発足し、会員は最大でも10名程度で現在に至っています。高齢や転勤等の理由で引退したり、他県の支部に移ったりと、メンバーも大きく代わり、支部長も私で4代目となりました。発足当時から古河二高お借りしていましたが、自分たちで運営できる市営の道場建設が悲願でありました。体育協会へのお願いや、20年ほど前には、市議会でも請願が採択され、実現一歩手前までいきましたが、財政面の事情でかないませんでした。

このような事情がありますので、市内在住で弓を引かれる方は、多くは栃木・埼玉・群馬県の近隣の支部に所属しています。かつて弓道を経験したことのある人で、また引きたいという申し出もありますが、練習日の制約もあり、なかなか会員の増加にはつながっていません。今後とも、少数数の会員力を合わせ、道場の新設を目指して活動実績を積み重ねていきたいと思つています。

県南地区

蒼藤会支部 菊地 祐太

県南地区は、蒼藤会支部、牛久地区、稲敷市支部、取手支部、藤代支部、守谷支部、竜ヶ崎支部の七支部にて構成されております。

県南地区の主な大会として、県南地区の支部が主催となって開催される県南弓道大会があります。県南弓道大会は毎年多くの方々にご参加頂きまして、取手グリーンスポーツセンターの弓道場に於きまして、毎年秋口に開催しており、一般の部と高校の部があり、毎年約三百名ほどの参加者の集まる大会であります。毎年欠かすこと無く開催できておりますのは、ご参加頂く方々、連盟のご後援、県南各支部の方々のご協力に他なりません。改めて感謝申し上げます。

さて、この県南地区ですが茨城県の中でも最も都心に近い地区であります。実際に県南地区の各支部に所属する方の中には、都心にお勤めの方、県外の大学に通っている方も多くいらっしゃいます。このところ学生から社会人になるにあたり、勤務先の都合上でなかなか弓を続けられなくなつてしまつて辞めていってしまうという声を耳にします。大変残念なことであります。

都心に通勤・通学していても弓道が続けることはできる！ということ、茨城県で一番都心に近い地区として、最大限にアピールすることが県南地区の役目の一つと私は考えます。「高校生から大学生」「大学生から社会人」というターニングポイントで弓道を諦めてしまうことのないように、今後よりもより一層学生と一般との交流を深め、弓道人口の拡大を心がけて実践していく所存でございます。

鹿行地区

波崎支部 小沼 勝則

この度鹿行地区理事を久保喜雄先生より引き継ぎました寄稿として地区の紹介を致したいとおもいます、私達の地域は鹿が行くと書いてろっこうと読みます茨城県南東部の地域です、少し前までの鹿島郡の「鹿」と行方郡の「行」からなっています旧行方郡域は潮来市、行方市 旧鹿島郡域は銚田市、鹿嶋市、神栖市で構成されています。茨城県弓道連盟の支部は行方、潮来、銚田、鹿嶋、神栖、三菱ケミカル、波崎の七つの支部が在ります全ての市でそれぞれ弓道大会が開催されており長い歴史の有る大会も!!潮来市では毎年6月に水郷潮来あやめ祭り弓道大会が

前回の茨城国体の弓道競技会場の道場にて一般と高校生の多数の参加者で賑わいます上位者には菖蒲の鉢植えが賞品として用意されて上座に鎮座しておりとても華やかです、行方市では例年5月麻生杯と10月に行方市弓道大会が開催されて賞品には地元産の農産物が沢山有ったりと楽しい大会です!しかし今年の春先の猛烈な突風より道場は被害を受けて損壊した模様です、復旧が進むことをねがいます!支部の皆様お見舞い申し上げます。続きまして鹿嶋市ではご存知の鹿島神宮弓道大会が毎年4月29日(祝)に開催され鹿嶋支部の皆様により運営され盛況です今年も沢山の参加者で一杯でした競技の合間に本殿にお詣り神宮内の散策など楽しめます武道の神様に願をかけて望む大会も良いものです。銚田支部では銚田市総合運動公園弓道場で例年10月に大会が有り去年は悪天候で中止となりました、銚田はメロンの日本一の産地です賞品にもなっています!皆さん頑張ってください。

最後に一番南東部の神栖市では5月に神栖市春季弓道大会が神栖支部の皆様によって市武道館弓道場で開催されていますまた近隣の支部参加の秋季大会が和気あいあいと弓友の輪が出来ます、勿論武

道としての礼節を重んじながら開催され支部で苦勞なさっていると思います、鹿行地区の大会はそれぞれ特色がありますので県内弓友の皆様是非参加してみてください書き漏らしたり有るかと思いましたがご容赦ください茨城県弓道連盟の益々の発展をお祈りいたします。



会議報告

県外

- 関東地連会長会議 (明間 勲 H29/4/6)
- 全弓連評議委員会議 (久保田 清 H29/6/29)
- 関東地連会長会議 (久保田 清 H29/7/22)
- 全国地連会長会議 (久保田 清 H29/11/30)

県内

- 総務企画委員会 (茨城県職業人材育成センター H29/5/28)

研修事業報告

県外

- 〔関東北地区〕 指導者講習会 (千葉市 H29/6/3~4)
- 福地 平、海老根芳江、小堀 富男、米山 良美、後藤 裕一
- 〔関東北地区〕 指導者育成講習会 (水戸市 H29/6/24~25)
- 辻 尚宏、石塚 美志、菊地 俊和、稲見 真人、石田 昌嗣
- 中央研修会 (東京都 H29/10/6~8)
- 福地 平

県内

- 1、講師・審査委員研修会 (H29/4/1 水戸 78名)
- 2、第1回 五段講習会 (H29/4/29 水戸 49名)

- 3、第1回 三四段講習会 (H29/5/6 水戸 67名)
- 4、第1回 教士講習会 (H29/6/18 土浦 29名)
- 5、関東北指導者育成講習会 (H29/6/24 水戸 30名)
- 6、〃〃 (H29/6/25 水戸 29名)
- 7、高校審判実技講習会 (H29/7/8 水戸 47名)
- 8、支部指導者伝達講習会 (H29/7/23 水戸 50名)
- 9、第1回 錬士講習会 (H29/7/29 水戸 48名)
- 10、第2回 五段講習会 (H29/8/5 水戸 35名)
- 11、第2回 三四段講習会 (H29/8/20 水戸 54名)
- 12、教職員講習会 (H29/9/10 土浦 21名)
- 13、第2回 錬士講習会 (H29/9/30 水戸 37名)
- 14、第2回 教士講習会 (H29/10/7 水戸 26名)
- 15、外部講師招聘講習会 (練六以上) (H30/2/24 水戸 48名)
- 16、〃〃 (H30/2/25 水戸 49名)
- 述べ参加者数 697名

「公認地方委員資格認定講習会」

- 1、講師・審査委員研修会
 - (H29/4/1 水戸 78名)
 - 2、第1回 教士講習会
 - (H29/6/18 土浦 2名)
 - 3、支部指導者伝達講習会
 - (H29/7/23 水戸 20名)
 - 4、第1回 錬士講習会
 - (H29/7/29 水戸 24名)
 - 5、第2回 錬士講習会
 - (H29/9/30 水戸 4名)
- 述べ認定者数128名
H30/1/10認定証発行
(有効期間3年間)

県外大会 一般

第64回全日本勤労者弓道選手権大会

- (福井県敦賀市 6/10/11)
- ・日立製作所茨城A
- (尾吹 将大、竹之内 正宏、久保田 亮)
- ・日立製作所茨城B
- (笹沼 健一、木元 雄太、新山 晃一)

第55回関東教職員弓道大会

- (千葉県千葉市 H29/7/2)
- ・男子個人優勝 千葉 一茂
- (日本武道館 H29/7/18)
- ・山口 純、高橋 輝子、長谷川 絵鈴、石田 昌嗣、米山 良美

第1回都道府県対抗弓道大会

- (三重県 H29/9/21/23)
- ・柴原 一梨子、中井川美枝子

第72回国民体育大会関東ブロック大会

- (群馬県 H29/7/23)
- ・少年男子
- 近の1位、
- 遠的1位、総合1位(通過)
- 少年女子
- 近の2位、
- 遠的6位、総合4位(不通過)
- 成年男子
- 近の1位、
- 遠的5位、総合2位(通過)
- 成年女子
- 近の8位、
- 遠的8位、総合8位(不通過)

第58回 関東地域弓道選抜選手権大会

- (神奈川県 H29/9/3)
- ・有段者の部 5位、全弓連賞
- 長谷川絵鈴
- ・称号者の部 5位、全弓連賞
- 米山 良美
- ・有段者の部 射技優秀賞
- 長谷川絵鈴

第68回全日本男子弓道選手権大会

- (天皇杯)
- (三重県 H29/9/23/25)
- ・米山 良美
- (決勝進出)、
- 山村 晋、小堀 富男

第50回全日本女子弓道選手権大会

- (皇后杯)
- (三重県 H29/9/21/23)
- ・柴原 一梨子、中井川美枝子

第72回国民体育大会弓道競技会

(愛媛県 H29/9/9/12)

- ・成年男子
- (久保田 亮、尾吹 将太、山口 純)
- 少年男子
- (菊地 凜、宮川 晃弥、宮川 隼弥)
- 遠的5位
- (秋田市 H29/9/9/12)
- 山次禎治郎、古俣 正喜、飛田 力男、鈴木正太郎、荻沼 信子、岩間 捷雄、木村 薫、斎藤ミユキ

第68回全日本弓道遠的選手権大会

- (東京都 H29/10/20/22)
- ・男子の部
- 高木 勉、山口 純(優勝)
- ・女子の部
- 紫村 トク子、上馬 英子

第133回 明治神宮奉納全国弓道大会

- (東京都 H29/11/3)
- ・称号者の部 7位
- 塚田 哲也
- ・称号者の部
- 9位 中嶋 鉄郎

県外大会 高体連

- 第61回関東高等学校弓道大会
- (山梨県 H29/6/2/4)
- ・男子団体の部
- 第3位清真学園
- 予選通過 佐竹

予選敗退 下館第一、

- 守谷、鹿島
- ・男子個人の部
- 技能優秀 宮川 晃弥
- (清真学園)
- 女子団体の部
- 優勝清真学園
- 予選敗退
- 水戸桜ノ牧、土浦日大、佐和
- 女子個人の部
- 第7位中村 由菜(土浦日大)

第61回全国高等学校弓道大会

- (宮城県 H29/8/1/4)
- ・男子団体の部
- 第5位清真学園
- 女子団体の部
- 予選敗退土浦日大
- 男子個人の部
- 準決勝敗退
- 大内 寛太(佐和)、竹林 朋哉(鹿島)
- 女子個人の部
- 決勝敗退
- 黒須恵望奈(鹿島)、興野あずさ(佐和)

第72回国民体育大会

- 関東ブロック大会弓道競技
- (群馬県 H29/7/22/23)
- ・少年男子の部
- 近の1位、遠的1位、
- 総合1位(通過)
- 少年女子の部
- 近の2位、遠的6位、

総合4位(不通過)

- 第72回国民体育大会弓道競技
- (愛媛県 9/9/12)
- ・少年男子の部
- 遠的 第5位
- 第36回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会
- (東京都 9/16/17)
- ・男子の部
- 第3位 菊池 凜(清真学園)
- ・女子の部
- 第5位 石井 真美(水戸第二)
- 第7位 鋤崎 鈴奈(土浦第二)
- (滋賀県 12/24/26)
- ・男子団体の部
- 予選敗退 清真学園、下妻第二
- 女子団体の部
- 決勝進出 清真学園
- ・男子個人の部
- 決勝進出 川井 龍真(日立北)
- 予選敗退 松島羽琉仁(守谷)
- 女子個人の部
- 予選敗退 青柳 志穂(水戸第二)
- 大関菜々子(水城)
- 第17回東日本高等学校弓道大会
- (福島県 H29/3/23/26)
- ・5人制男子の部
- 決勝T進出古 河第二
- 予選敗退 清真学園、下妻第二
- 5人制女子の部
- 決勝T進出 水戸桜ノ牧
- 予選敗退 境

第36回関東高等学校

- 弓道個人選手権選抜大会

第17回東日本高等学校弓道大会

- (福島県 H29/3/23/26)
- ・5人制男子の部
- 決勝T進出古 河第二
- 予選敗退 清真学園、下妻第二
- 5人制女子の部
- 決勝T進出 水戸桜ノ牧
- 予選敗退 境

・3人制男子の部
決勝T進出 下妻第二

予選敗退 清真学園、古河第二

・3人制女子の部
第3位境
予選敗退 水戸桜ノ牧

県外大会 中体連

第28回関東中学生弓道大会

(中央 H 29 / 8 / 10)

・団体の部
女子 東海中 第2位

・個人の部
男子 小林瑠輝亜(城ノ内)

8位入賞

第14回全国中学生弓道大会

(中央 H 29 / 8 / 18 / 20)

・団体の部

男子 阿見中学校
女子 水戸第二中学校 出場

・個人の部

男子 須藤 紘文(阿見) 出場
女子 黒澤 陽菜(東海) 6位入賞

連盟後援行事

土浦桜祭り大会

(土浦 H 29 / 4 / 1、2)

村松山弓道大会

(東海村 H 29 / 4 / 2)

鹿島神宮弓道大会

(鹿島 H 29 / 4 / 29)

神栖弓道大会

(神栖 H 29 / 5 / 14)

あやめ祭り弓道大会

(潮来 H 29 / 6 / 11)

県南弓道大会

(取手 H 29 / 10 / 22)

県西弓道大会

(下館 H 30 / 1 / 21)

観梅弓道大会

(水戸 H 30 / 3 / 18)

茨城県弓道連盟主催(主管)県内大会集

春季大会

H 29 / 4 / 9

▼有段男子の部

優勝 山口 純

準優勝 川端 達夫

第3位 久保田 亮

▼有段女子の部

優勝 長谷川絵鈴

準優勝 相原 利恵

第3位 高橋 静子

▼称号者の部

優勝 小松 正幸

準優勝 林田 國洋

第3位 辻 尚宏

▼射技優秀

男子・山口 純

女子・相原 利恵

▼遠の大会

H 29 / 5 / 21

▼男四段以下

優勝 菊地 祐太

準優勝 笹沼 健一

第3位 木元 雄太

男五段以上

優勝 山口 純

準優勝 高木 勉

第3位 後藤 裕一

女四段以下

優勝 長谷川絵鈴

準優勝 八巻 千夏

第3位 和田 綾子

女五段以上

優勝 上馬 英子

準優勝 紫村トク子

第3位 上田 有香

派遣選手男子

優勝 山口 純

準優勝 高木 勉

派遣選手女子

優勝 上馬 英子

準優勝 紫村トク子

第3位 英子

準優勝 紫村トク子

男三段以下

優勝 塚本 哲生

準優勝 渡辺 浩気

第3位 村松 真

男四段以上

優勝 山口 純

準優勝 吉川 博史

第3位 大森 陽平

女三段以下

優勝 米山 良美

準優勝 石田 昌嗣

第3位 米山 良美

優勝 吉村 静華

準優勝 小又美恵子

第3位 水野 希美

女四段以上

優勝 長谷川絵鈴

準優勝 石島 凡子

第3位 小林 美環

称号受有者男子

優勝 小出 則行

準優勝 米山 良美

第3位 鈴木正太郎

称号受有者女子

優勝 金子久美子

準優勝 高橋 輝子

第3位 川俣 幸子

関東選手権有段

長谷川絵鈴

大森 陽平

塚本 哲生

吉川 博史

山口 純

関東選手権称号

米山 良美

高橋 輝子

岡田 敏樹

金子久美子

小出 則行

都道府県対抗派遣

山口 純

高橋 輝子

高橋 輝子

長谷川絵鈴

石田 昌嗣

米山 良美

優勝 吉村 静華

準優勝 小又美恵子

第3位 水野 希美

女四段以上

優勝 長谷川絵鈴

準優勝 石島 凡子

第3位 小林 美環

称号受有者男子

優勝 小出 則行

準優勝 米山 良美

第3位 鈴木正太郎

称号受有者女子

優勝 金子久美子

準優勝 高橋 輝子

選手権決勝大会

H 29 / 7 / 2

▼有段者男子の部

最高得点賞 大森 陽平

優勝 山口 純

準優勝 大森 陽平

第3位 岡田 智光

▼有段者女子の部

最高得点賞 長谷川絵鈴

優勝 長谷川絵鈴

準優勝 藪田 薫理

第3位 小林 美環

▼称号者男子の部

最高得点賞 山村 晋

優勝 菊地 俊和

準優勝 福嶋 勝之

第3位 小堀 富男

▼称号者女子の部

最高得点賞 高橋 輝子

優勝 村上 美保

準優勝 高橋 輝子

第3位 金子久美子

中野杯

H 29 / 8 / 6

▼男子の部

優勝 河内 史彦

準優勝 志田 正実

第3位 矢崎 一男

▼女子の部

優勝 長谷川絵鈴

準優勝 米山ひろみ

第3位 関 深雪

▼称号受有者

- 優勝 紫村トク子
- 準優勝 米山 良美
- 第3位 高松 清

夏季錬成

H29/9/3

- 5人立 団体戦
- 優勝 土浦亀城B
- 準優勝 下館A
- 第3位 水戸市B

段位別

H29/10/8

- ▼二段以下
- 優勝 高野真太郎
- 準優勝 宮崎 隆之
- 第3位 北原須恵雄
- ▼三段の部
- 優勝 金塚 安伸
- 準優勝 堀越 一輝
- 第3位 八巻 千夏

▼四段の部

- 優勝 照沼 勇一
- 準優勝 木名瀬 健
- 第3位 大金 勉

▼五段の部

- 優勝 岩下 智明
- 準優勝 田中 宏和
- 第3位 杉山 義光

▼称号受有者

- 優勝 中井川一郎

▼優秀賞

- 二段以下の部 高野真太郎
- 三段の部 小久保千裕
- 四段の部 長谷川絵鈴
- 五段の部 相原 利恵

支部対抗

H29/12/3

- 優勝 稲敷市
- 準優勝 藤代A
- 第3位 水戸市B
- 団体戦 つくば市

ネリンピック

H29/12/4

- ▼選手候補
- 齊藤 千晴
- 越川 春江
- 湯浅 政夫
- 平須賀 功
- 坂本 允
- ▼監督/交代選手
- 矢崎 一男
- 志田 正実
- 沖田 紀子

新年射会

H30/1/14

- ▼三段以下
- 男子 射詰優勝 伊佐 力男

- 優勝 檜山 海斗
- 準優勝 島田 嘉隆
- 第3位 高野真太郎

- 女子
- 優勝 小松崎彩香
- 準優勝 綿引 美穂
- 第3位 萩原明日香

▼四・五段

- 男子
- 射詰優勝 山口 純
- 優勝 山口 純
- 準優勝 桑原 恒夫
- 第3位 木村 薫
- 女子
- 優勝 相原 利恵
- 準優勝 荒岡 恵子
- 第3位 長谷川絵鈴

▼称号受有者

- 男子
- 射詰優勝 船越 忠
- 優勝 船越 忠
- 準優勝 萩谷 純生
- 第3位 矢野 大輔
- 女子
- 優勝 石井 幸子
- 準優勝 紫村トク子
- 第3位 林田 幸子

茨城県教職員弓道連盟県内大会結果

春季大会

H29/4/30

- 男子の部

- 優勝 染谷 学
- 準優勝 信戸 修一
- 第3位 後藤 裕一

▼女子の部

- 優勝 相原 利恵
- 準優勝 大川都志子
- 第3位 大金喜代子

▼総合の部

- 優勝 染谷 学

秋季大会

H29/11/23

▼男子の部

- 優勝 信戸 修一
- 準優勝 後藤 裕一
- 第3位 谷田部大地
- 女子の部
- 優勝 相原 利恵
- 準優勝 大金喜代子
- 第3位 大川都志子

▼総合の部

- 優勝 信戸 修一

高体連県内大会結果

春季大会 兼 関東大会県予選

H29/5/12 (女子)

H29/5/13 (男子)

▼男子団体

- 優勝 清真学園A
- 準優勝 鹿島A
- 第3位 佐竹A
- 女子団体

- 優勝 水戸桜ノ牧
- 準優勝 清真学園A
- 第3位 清真学園B

▼男子個人

- 優勝 菊池 凜(清真)
- 準優勝 棚井 蓮(佐竹)
- 第3位 宮川 晃弥(清真)
- 女子個人
- 優勝 桜井 涼樺(桜牧)
- 準優勝 中村 由菜(土日)
- 第3位 長山 琴音(日一)

高校総体予選 県民総体予選 全国総体予選 国体茨城大会

H29/6/17、18、20

▼男子団体

- 優勝 清真学園
- 準優勝 佐和
- 第3位 鹿島
- 女子団体
- 優勝 土浦日大
- 準優勝 清真学園
- 第3位 佐和

▼男子個人

- 優勝 竹林 朋哉(鹿島)
- 準優勝 宮川 晃弥(清真)
- 第3位 大内 寛太(佐和)
- 女子個人
- 優勝 興野あずさ(佐和)
- 準優勝 黒須恵望奈(鹿島)
- 第3位 宮谷臺理子(清真)

国体選手選考会

H29/5/20(1次)
H29/6/10(2次)

監督

▼男子

優勝 菊池 凜(清真)

準優勝 宮川 隼弥(清真)

第3位 宮川 晃弥(清真)

監督 佐久間和彰(清真)

▼女子

優勝 木塚 梨渚(清真)

準優勝 瀧澤なつみ(水城)

第3位 中村 由菜(土日)

監督 中泉 尚人(竹園)

県個人選手権兼関東個人選手権予選会

H29/8/21(女子)

H29/8/22(男子)

▼男子総合

優勝 菊池 凜(清真)

準優勝 宮川 晃弥(清真)

第3位 飯島 悟史(館一)

▼女子総合

優勝 石井 真美(水二)

準優勝 鈴木 来実(清真)

第3位 加藤 由姫(桜牧)

▼男子1年

優勝 中川凜太郎(佐和)

準優勝 工藤 翔太(守谷)

第3位 青木 一航(清真)

▼女子1年

優勝 鈴木 来実(清真)

準優勝 渡邊 真由(清真)

第3位 佐藤 千笑(守谷)

新人大会兼全国選抜予選

H29/11/7(男子)

H29/11/8(女子)

▼男子団体

優勝 下妻第二

準優勝 日立北

第3位 霞ヶ浦

牛久栄進

▼女子団体

優勝 清真学園A

準優勝 守谷

第3位 水戸第三A

清真学園B

▼男子個人

優勝 川井 龍真(日北)

準優勝 松島羽流仁(守谷)

第3位 杉谷 柁月(竹園)

▼女子個人

優勝 青柳 志穂(水二)

準優勝 鈴木 来実(清真)

第3位 大関菜々子(水城)

県高校弓道冬季大会

H30/1/26(女子)

H30/1/27(男子)

▼男子団体

優勝 下妻第二

準優勝 古河第二

第3位 佐和

▼女子団体

優勝 水戸桜ノ牧

準優勝 境

第3位 清真学園

▼男子個人

優勝 島 歩夢(茨城)

準優勝 出頭 幸喜(銚二)

第3位 松島羽流仁(守谷)

▼女子個人

優勝 砂押 美乃(那湊)

準優勝 前田こはる(桜牧)

第3位 大島 里菜(妻一)

中体連県内大会結果

県総合体育大会

H29/7/26

▼男子団体

優勝 阿見

準優勝 東海南

第3位 猿島

▼女子団体

優勝 水戸二

準優勝 東海

第3位 城西

▼男子個人

優勝 須藤 紘文(阿見)

準優勝 鈴木 慧良(土浦三)

第3位 田崎 光(東海南)

▼女子個人

優勝 黒澤 陽菜(東海)

準優勝 日向寺美羽(清真)

第3位 橘川 美鈴(城西)

中野優勝旗大会

H29/8/1

▼男子団体

優勝 千波A

準優勝 水戸二A

第3位 東海南A、土浦三B

▼女子団体

優勝 水戸二A

準優勝 竹来C

第3位 清真A、清真D

▼男子個人

優勝 小林 拓翔(東海)

準優勝 根本 志竜(清真)

第3位 久須美光弥(千波)

▼女子個人

優勝 黒澤 陽菜(東海)

準優勝 西谷 桜子(清真)

第3位 橘川 美伶(城西)

県新人大会

H29/11/21

▼男子団体

優勝 城ノ内

準優勝 東海南

第3位 東海

▼女子団体

優勝 土浦一

準優勝 太田

第3位 千波

▼男子個人

優勝 大谷 晃生(東海南)

準優勝 市毛 巧海(水戸二)

第3位 山内 結稀(猿島)

▼女子個人

優勝 米村 和音(土浦二)

準優勝 田中日茉莉(土浦二)

第3位 石浜 花凜(城ノ内)

武道フェスティバル

H29/11/18

▼男子の部

優勝 工藤 啓(城ノ内)

準優勝 門馬 怜(千波)

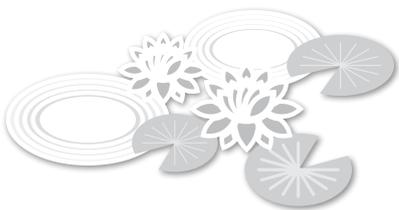
第3位 佐藤 恭栄(城西)

▼女子の部

優勝 高野 一紗(土浦二)

準優勝 石塚 弓瑚(愛宕)

第3位 杉原 彩華(内原)



平成29年度 中央(臨時)審査会 合格者

No	取得	氏名	所属	取得日	審査場所
1	九段	柴田 猛	水戸桜川	H29. 5.15	平成29年度推薦審議会
2	七段	米山 良美	下 館	H29. 7. 8	【仙台】 定期中央審査
3		中嶋 鉄郎	筑西五所宮	H29.10.15	【郡山】 臨時中央審査
4		森 昭夫	玉里酔心館	H29.11. 6	【東京】 定期中央審査
5		林田 國洋	筑波北条	H30. 2. 9	【名古屋】 定期中央審査
6		教士	中井川 美枝子	勝 田	H29. 7. 7
7	六段	船越 忠	神 栖	H29. 7. 8	【仙台】 定期中央審査
8		和栗 淳	友 部	H29.10.15	【郡山】 臨時中央審査
9		坂本 允	牛 久		
10		金子 久美子	日立市	H29.11. 4	【東京】 定期中央審査
11		高橋 啓市	守 谷		
12		錬士	川上 義高	湊	H29. 9.30
13	古田土 百合子		土浦亀城		
14	矢野 大輔		藤 代	H29.11.11	【水戸】 臨時中央審査
15	西野 文子		湊	H29.11.12	
16	鈴木 裕美		湊		
17	岩間 捷雄		みと葵	H29.12.16	

平成29年度 連合審査会 合格者

No	取得	氏名	所属	取得日	審査場所
1	五段	谷田部 大地	土浦亀城	H29. 6. 4	【東京】 関東連合審査
2		大貫 春恵	水戸桜川	H29. 6.11	【前橋】 関東連合審査
3		栗原 邦男	北 総	H29. 6.11	
4		鈴木 泰璋	土浦亀城	H29. 7.30	【神奈川】 関東連合審査
5		小林 美環	下 館	H29. 9.18	【栃木】 関東連合審査
6		荒木 誠	水戸桜川	H29. 9.18	
7		大西 敬子	日立市中央	H29.10. 1	【茨城】 関東連合審査
8		亀石 幸枝	堀 原	H29.10. 1	
9		豊崎 晋也	新 治	H29.10. 1	
10		下田 淑恵	鹿 嶋	H29.10. 1	